

未来を開く

長井市立長井北中学校

No50 令和3年10月20日

「保護者、学校、地域」の連携

第2回 「さわやかあいさつ運動」 アンケート集約結果より

第2回「さわやかあいさつ運動」アンケートにより、保護者の声が集約された。実態を知り、さらなる「次の一手」を探りたい。



PTA育成部主催の、第2回「さわやかあいさつ運動」のアンケート結果がまとまりました。

た。参加されたPTA会員の皆さんの「声」を掲載します。

集計結果から生徒たちの実態を踏まえ、今後とも家庭や地域との連携を図りながら指導していきます。そして、実態を「共有」することで、連携の糸口を見つけていきたいと思えます。

いただいた「声」をもとに、ご家庭でもあいさつや自転車のマナーなどについて、もう一度話し合ってみてください。

PTA育成部 第1回さわやかあいさつ運動アンケート結果

1 あいさつの様子について

○皆さん積極的にあいさつをしてくれた。目を合わせてあいさつすると、

元気をいただける気持ちになりました。

○どの子も自分から大きな声でしっかりとあいさつしてくれました。

○自分からあいさつしてくれる子が多く、大変うれしく思いました。

○第1回よりも皆さんあいさつをしてくれる印象でした。車の通りが多い時間帯ですが、あいさつの意識があってよかったと思います。

○6月の時よりもあいさつしてくれる子が多い気がしました。1年生も大きな声であいさつしてくれました。

○部活終わりで疲れている様子であったが、全員があいさつしてくれました。

○生徒の方から先に挨拶してくれることも多く、良かった。大きな声はこちらも気持ちよくなります。

▲元気にあいさつする子がほとんどでした。残念ながら、声が小さいのか聞こえない子もいました。

▲あいさつする子もいれば、しない子もいました。

▲朝から疲れ気味の生徒もいました。連休明けで気分が乗らなかったのでしょうか。



2 交通ルールやマナーについて

(ライト点灯、一時停止、一列走行など)

○左右の安全を確認し、道路を渡っていました。

一列走行で安全に走行していました。

○みんなマナーを守っていました。

○みんなヘルメットをかぶり、一時停止をしっかりと行っていた。





○横断歩道で車が止まってくれた時、しっかりとドライバーにお礼をするという、当たり前のことがきちんとできていました。

○下校時はしっかりライトも点けており、込み合うこともなく通行していました。

○横断する時の会釈が立派でした。

▲一時停止と道路横断の際、左右確認が甘い生徒が多いと感じました。

▲生徒の中には、自転車で並列走行している生徒がいました。

▲谷地橋の所の車のスピードが速く、横断歩道の所も止まってくれる車が少ないので、十分気をつけてほしいです。

3 その他

○コロナ禍でも生徒さん達のはつらつとしており、先生方の日頃のご指導に感謝しております。とても誇らしい北中生でした。

○春の立哨時より、あいさつの声が大きくなったような気がします。

○通勤のラッシュになる時間の中、自動車の運転手への気配りがあってよかったです。

▲集団で乗っている時は少し距離をとって自転車に乗った方が危険度も少なくなると思います。

▲暗くなるのが早くなり、運転していて自転車で帰る生徒を発見するのが遅くなりヒヤッとすることもあるので、もう少し反射材などを付けて目立つようにした方がいいのではないのでしょうか。



「いじめアンケート」のご協力 よろしく申し上げます



■新聞やテレビのニュース等で報じられているとおり、「いじめ」が社会問題化しています。

■このような状況をふまえ、本校では、平成26年2月25日に臨時生徒総会が開催され、「長井北中学校いじめ撲滅宣言」が生徒の手で採択されました。

■当時の生徒会長だった、安部侑也(あべゆうや)さんが、卒業証書授与式で次のような思いを在校生に託しました。

「今年度は、臨時の生徒総会で、『いじめ撲滅宣言』を決議することができました。言葉では理解できても、実際に実践することは難しいものです。この宣言が、本当の意味で北中生一人一人の行動として表れることを願っています。僕達は、その礎(いしずえ)を築くことしかできませんでした。後は在校生のみなさんに託します。北中の伝統というたすきを、今日皆さんに手渡します。来年度の北中が、みなさんの手でさらに充実し、自治の力に磨きがかかることを祈っています。みなさんなら大丈夫です。北中生であるという誇りを胸に、一步一步、歩いていってください。」

■県内の小中高等学校で一斉に2回目の「いじめ」アンケートを実施することになっています。そのねらいは、「明るく楽しい学校づくり」です。皆さんの心の声を正直に聞かせてください。